

2026 年度 湘南鎌倉医療大学大学院看護学研究科  
博士後期課程入学試験問題(リプロダクティブヘルス看護学)

【解答ポイント】

問1.

① リサーチクエスト

- 「女性の社会進出」と「子産み・子育て」の関係について、単純な対立構図を前提とせず、具体的に研究可能な問いを設定する。
- 就業状況だけでなく、仕事と子育ての両立、職場環境、キャリア、価値観、支援環境等との関連に着目してもよい。

② 研究計画

- 研究の背景、研究目的、研究デザイン、研究対象、データ収集方法(収集するデータが何か、収集する方法)、データ分析方法が書かれていること。
- リサーチクエストと研究計画、研究目的と研究対象、研究方法に整合性があること。
- 「女性の社会進出」「子産み・子育て」など抽象的な概念を具体的にどのような変数で測定・把握するのか示されていること。
- 既存のエビデンスを活用し、全体に論理的でわかりやすく書かれていること。
- リプロダクティブヘルス看護学の視点があること。

問2.

- ① 傾聴し、本人の考えを否定せず、揺れる気持ちを受け止める。
- ② 本人の語りから、価値観・背景を理解する。
- ③ 「産む・産まない」のどちらにも誘導したりせず、本人が自分の価値観に基づいて考え、選択できるようにする。
- ④ 必要に応じて、継続して相談できる環境を整え、必要な情報・知識を提供する。
- ⑤ リプロダクティブ・ヘルス／ライツと青年前期というライフサイクルの視点で対応が一貫していること。

【出題意図】

問1. リプロダクティブヘルス看護学の研究者として、女性が社会進出することと、こどもを産み育てることについて、研究課題を考えることができるかをみる。専門知識と論理性、分析力、独創性、質問内容を的確に把握し回答する能力をみる。

問2. 価値観の多様性を尊重しながら、選択の悩みに寄り添う態度、公正・中立な態度、的確な専門知識を持ち合わせているか、これらの表現力・記述力をみる。